

I はじめに

- 未来技術の現状
- 国の動き
- 北海道の構想策定に向けた考え

II 北海道Society5.0

- 1 Society5.0とは
- 2 国の取組
- 3 「北海道Society5.0構想」策定の趣旨
- 4 「北海道Society5.0」
- 5 SDGsの推進

III 北海道の現状と未来技術の可能性

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 人口減少（労働力不足） 2 医療 3 教育 4 地域交通・物流の確保
〔公共交通の利用者の減少
ドライバー不足
高齢ドライバーの事故増加〕 5 観光 | <ol style="list-style-type: none"> 6 安全・安心の暮らしの確保
(1) 除雪
(2) 鳥獣被害対応
(3) 子供や高齢者の見守り
(4) 災害対応 7 行政、まちづくり
(1) 行政のデジタル化
(2) インフラの老朽化 |
|--|--|

IV 北海道の未来社会（10年後どうなっているか、どうなって欲しいか）

- | | | |
|--|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 人・暮らし
①医療福祉
②生活
③交通・物流
④教育 | <ol style="list-style-type: none"> 2 産業
①農業
②水産業
③林業
④建設業
⑤製造業
⑥観光
⑦仕事 | <ol style="list-style-type: none"> 3 地域・行政
①行政
②安全・安心の確保
③災害対応
④街づくり |
|--|---|---|

V 構想実現に向けて

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 構想の実現に向けて必要なこと
(1) 情報通信基盤の整備
(2) 人材の育成・確保
(3) 道内ICT企業の育成
(4) 新産業の創出
(5) 個人情報の保護とセキュリティの確保
(6) 規制の見直し、受入環境の整備 | <ol style="list-style-type: none"> 2 期待される役割
(1) 道民
(2) 企業・団体
(3) 大学・研究機関
(4) 行政機関 |
|--|---|

VI 最後に

■ 資料編

- ・道内の未来技術を活用した国、自治体、民間企業の先進的な取組事例 など